

# 先進地事例調査研究

## 生活環境委員会

委員長 細川 雅子

平成28年11月15日・17日

宮城県仙台市 11月15日

### 【下水道アセットマネジメント】

仙台市の公共下水道普及率は現在99%以上。施設の老朽化、予算の縮減、職員減少など業務上の問題を包括的に解決する必要があり、平成25年度からアセットマネジメントを本格的に導入している。6百回を超える会議を開催し、業務プロセスの改善、リスク評価基準や投資判断基準等を整備した。導入後は、

- ①目標を定めて成果指標を計測する。
  - ②リスク評価に耐えうる予算策定。
  - ③仕事は業務プロセスに従ってやる。
- 等の変化がみられとのこと。

本市も公共下水道事業の持続可能性に向け、マネジメントの質の向上を図ろうとしている段階である。将来像を学ぶ上で有効な視察となった。

解説

「アセットマネジメント」とは、施設管理に必要な費用、人員を投入し良好なサービスを継続的に供給していくための事業運営を行うこと。

## 栃木県塩谷郡高根沢町

11月17日

### 【新しい総合事業と

### 「花の丘」での取り組み】

国の介護保険制度の改正に伴う新しい総合事業を、高根沢町は平成28度から先行して実施している。その担い手の一つである、「NPO法人たすけあいエプロン」を訪れた。

ここは介護保険制度開始以前に、「困ったときはお互い様」の精神で、誰もが安心して暮らせる地域コミュニティを創ることを目指し設立された。現在は介護保険事業をはじめ、子育て支援なども行っている。平成26年オープンのコミュニティカフェ「花の丘」は、誰でも来られる常設型の「居場所」として、現場のニーズからスタートした事業である。地域包括ケアシステムの地域づくりを進める本市にとつて、支える人も支えられる人も共に生き生きと過ごす「花の丘」の事業は大変参考になった。



## 小方地域まちづくり 対策特別委員会

委員長 細川 雅子

平成28年11月16日

### 岩手県紫波郡紫波

### 【オガールプロジェクト】

市は平成28年度から小方新駅を中心とした小方まちづくり構想策定事業を進めている。当特別委員会では、構想策定のポイントや手法を学ぶため、駅周辺の開発を行っている岩手県紫波町のまちづくりを視察した。

紫波町は東洋大学大学院経済学研究科と協定をむすび、公共用地として町が取得してから10年以上放置されていたJR紫波中央駅前にある町有地10.7ヘクタールについて、「紫波町PPP(※)可能性調査」を行い、公民連携の手法でまちづくりを進めることを決定した。

行政内部の公民連携室と民間の特定目的会社であるオガールプラザ株式会社とが公民連携の推進力となった。

公民連携基本計画(議会議決有)を策定する際には、町民の理解を得るために対話を繰り返し、更に住民とワークショップを重ねることでオ



紫波マルシェ

ガールプロジェクトに魂を入れる作業をした。オガールプロジェクトの斬新さは、ありきたりの公共事業から脱却し、公共インフラに「稼ぐ機能」を付加して公共サービスの持続可能性とサービスの充実を図ったことにある。

小方新駅を含めて、小方小中学校の跡地の活用と周辺の魅力づくりは本市のけん引力となると期待されている。地区のにぎわいづくりと、若者、子育て世代が住みたいと感じるまちづくりに向けて、特別委員会の役割の重さを再認識した視察となった。

(※)公民が連携して公共サービスの提供を行う仕組み

# 総務文教委員会

委員長 山崎 年一

平成28年11月7日～9日

岐阜県多治見市 11月7日

## 【多治見市第7次総合計画について】

総合計画策定に向けた多治見市議会の取り組みは、全議員を委員とする総合計画策定特別委員会を設置し、議会としての合意形成を委員会として決定すると決し、以後7カ月間にわたって継続的に審議・議論を重ね、市長に対して追加修正案8事業を要望書という形で提案されています。

8事業のうち7事業は議会の要望に沿った形で計画に修正・追加されたので、「議会が総意として決定した要望を行政サイドが重く受け止めたものでした。」



多治見市

かわりが示されていきました。執行部から提案された174事業を3つの分科会で「議員間討議」にかけて審査するなどの取り組みも成されています。「議員一人一提案」や「議員間討議」「議会の合意形成による事業要望」など、学ばべき事例が多くあり、第6次総合計画策定に向けた本市議会の取り組みとしたいものです。

長野県茅野市 11月8日

## 「茅野市リーダーズクラブ」

中・高校生を中心に「子どもの手による子ども会」を目指し、自分たちで事業の立案・検討・実施・リーダー研修活動などを行っています。

子どもたちの積極的に行動する力、仲間と協力して成功を目指す力、仲間や世代間の人とのコミュニケーションの場などが経験できるように活動の場を広げ、すべての事業を子供たちだけで作り上げる力を養うことに注力していました。他の模範となる実績を長年残してきたことが評価され、国や県からの各種団体表彰など多数の栄誉は参加者や関係者などに多くの励ましとなり好循環になっているようです。

本市では、生涯学習課の取組で

あるジュニアリーダー研修会と中高生主体の市民グループの活動に行政がより関連性と連続性を深めております。行政と大人の関わり支援で大きく飛躍するのが子どもたちです。

愛知県武豊町 11月9日

## 「NPO法人ゆめフルたけとよスポーツクラブ」

この「クラブ」は「小さく生んで大きく育てる」を理念に幼児から小学生を中心に高齢者までを対象として会費や助成金で独立した組織として活動しています。会費も比較的安全で希望者が多くどの教室も満杯補助金の獲得に奔走する状況で、財政的な支援が求められていました。

本市の「総合型地域スポーツクラブ」とは財政面・組織面において大きな開きがあると感じ、本市においても独立した組織として活動できる体制が必要と感じました。

また、将来的には高齢者の健康増進・医療費抑制の観点から高齢者のクラブ編成にも積極的に取り組み、地域包括ケアシステムに向けて貢献したいとお話も伺いました。本市においてもこのような団体の育成・支援が必要であり、議会としても見守っていききたい。

## 議会を傍聴しませんか

市議会では予算や条例をはじめ行政に対する一般質問など、住みよいまちづくりをめざして審議をしています。

本会議、委員会とも傍聴できますので、議会がどのように運営されているか傍聴してみませんか。



### 3月議会日程(予定)

本会議	3月2日(木)
常任委員会	3月2日(木)
特別委員会	3月3日(金)
本会議	3月6日(月)
(予備日)	3月8日(水)
予算特別委員会	3月9日(木)
委員会	3月13日(月)
本会議	3月16日(木)
	3月24日(金)